

応援メッセージ!

芳賀晟壽（北九州市社会福祉協議会会長）

北九州市社会福祉協議会は、「ホームレス自立支援センター北九州」の設立から運営を行い、251人の自立を達成しましたが、経済・雇用状況の悪化は、深刻なものがあります。「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現のために、一人ひとりの協力が必要です。

山崎克明（北九州市立大学名誉教授）〈愛の手〉を！

「派遣切り」をはじめとする雇用危機の結果、北九州でも路頭に迷う人たちが急増しています。これは決して当事者たちが自ら築いた種の帰結ではありません。「明日はわが身」の問題であり、私たちが私たちの社会全体の責任として受け止めなければならない構造的な問題なのです。

NPO法人北九州ホームレス支援機構は、この問題に真正面から果敢に向き合うための施設「抱樸館北九州」を建設しようとしています。ぜひあなたの〈愛の手〉を差し伸べてくださいますように。

亀津正武（元ボランティア大学校長）

都市の魅力は3つあると私は考えています。1. 自然の美しさ（山や川）
2. 人工の美しさ（造形美、都市計画）3. 人情の美しさ（優しさ、思いやり）
その内でも、決め手となるのは人情の美しさだと思います。良い町とは、良い人が住んでいる町。良い人とは、他者のことを考えることができる人です。抱樸館北九州ができるということは、人の苦しんでいることが気になる人が増えるということであり、北九州市がそのような、人のことを考えていい町なんだということのシンボルとなる施設だと思います。

平野健二（株式会社サンキュードラッグ社長）

人は一人では生きていけません。住みよいコミュニティを作ることは地域社会の構成員全体会の仕事ですが、分けても、家族という最小単位をいかに大切にするかは、重要な問題です。故あってホームレスになった人たちが家族の元へ帰れるように、家族を失った人たちが家族の温もりを感じられるようすることは、私たちの町に暖かさをもたらすことなのです。一人ひとりを大切にする町…きっとそれは自らを大切にする町に繋がるのです。

穴見幹男（株式会社ひまわり社長）

高齢化と経済の混迷が深まる中、お互いを思いやる心が益々大切になっています。ホームレス支援はその中で特に身近で重要な取組の一つだと考えております。他人事としてではなく、可能な限り支援の輪に加わりたいと思います。一人でも多くの方々の積極的な参加を心より要請致します。

寺園喜基（西南学院院長）

昨今の社会情勢を反映してか福岡市をはじめ各地におけるホームレス数の増加が課題とされていますが、北九州市におけるホームレス支援の進展には目を見張るものがあります。その支援活動の中心を担っている北九州ホームレス支援機構が、この度新しい「地域拠点施設」の建設を行うとのこと。ホームを失い行き場のない多くの人のために建てられる施設建設を応援します。

茂木健一郎（脳科学者）

人と人とは助け合って当たり前。そんな当たり前の感覚すら失っている今の日本。そろそろ、当たり前の真実を思い出したらどうだろう。お互いに助け合えば弱いところを補いあって、束ねた矢となり、それだけ人は強くなる。お互いに支え合ったら、みんなが元気になって、世の中はもっと素敵な場所になるのではないかでしょうか。

私は抱樸館北九州を応援します！

抱樸館北九州建設のため 寄付をお願いします！ 《目標額 5000万円》

北九州市八幡東区（高齢者最多居住地区）に200坪以上/3階建て/居室40室の施設建設を進めています（2010年着工予定）。

建設費用の規模は総額1億円。このうち5000万円は借り入れで、5000万円を皆様からの寄付でお支え頂きたいと考えています。

■支援機構は2004年12月に「認定NPO法人」となり、当NPOへの寄付金は寄付者の税金控除の対象となります。
詳しくは総務までお問い合わせください。

郵便振替口座 01780-8-64142
「北九州ホームレス支援機構」

※左の払込取扱票を切り取って郵便局で御利用出来ます。
※お払込みの際に下記の料金がかかりますが、ご負担下さいますようお願いします。
お払込み3万円未満=窓口120円（ATMでは80円）
3万円以上=窓口330円（ATMでは290円）

※振込時のお名前宛に領収証を郵送致します。領収証の宛名にご希望がある場合は、お振り込みと同時に事務局までお知らせください。

会員としての支援

私たちの活動は、多くの皆様からの支援で成り立っています。皆様からの定期的な年会費によって、安定した支援活動を行うことができます。

正会員：10,000円 賛助会員：一口 5,000円

賛助会費は何口でも結構です。

（通信欄に「賛助会費」と明記の上、隨時お振込みください。）

※正会員について

総務にて入会説明を受け、書類を提出して頂きます。会員はメーリングリストへ登録され、Eメールにてより細やかな情報が受け取れます。また、支援機構の方向性を決める「総会」での一票を持つことができ、ボランティア部門（炊き出し委員会／自立支援住宅委員会／サポート・育成委員会／総務・広報委員会など）における提案・運営に関わることができます。

北九州ホームレス支援機構

ホームレス 自立支援のために

わたしたちの街の
困窮・孤立状態にある方々を支援する
新しい「地域拠点」施設



【私たちの目指すもの】

1. ひとりの路上死も出さない
2. ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を
3. ホームレスを生まない社会を創造する

認定NPO法人 北九州ホームレス支援機構

〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2-1-32
TEL/FAX：093-653-0779 (ボランティア事務局)
寄付お問い合わせ：093-571-1009 (総務)

E-mail : ettou@f8.dion.ne.jp

<http://www.h3.dion.ne.jp/~ettou/npo/>

独りに、したくない。

ホームレスの現状

「ハウス」を失っても、それだけではホームレスになりません。様々な事情で「孤独」に陥った時に、「ホーム」を失います。「ハウス」があっても「ホーム・レス」な状態の方も増えて来ています。私たちは「ハウスレス」「ホームレス」の両面に対するケアを行っています。

住居、衣服、食物、
職場、身分証明、電話
物理的要件の喪失

家族、兄弟、友人
関係性の喪失

「ハウスレス」
(物理的困窮)

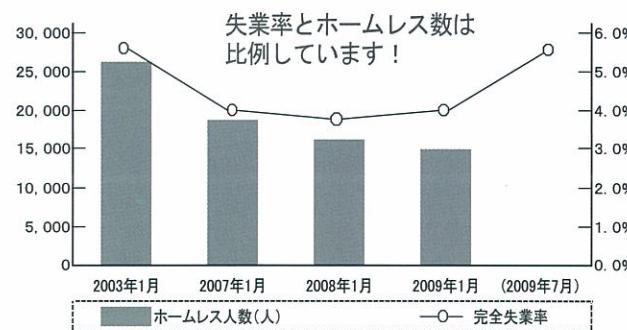
「ホームレス」
(関係性の困窮)

失業率とホームレス数

7月の完全失業者数は 359万人
1年間で 103万人増加！

| | ホームレス数(人) | 完全失業率(%) | 完全失業数(万人) |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 2003年1月 | 25,296 | 5.4 | 357 |
| 2007年1月 | 18,564 | 4.0 | 264 |
| 2008年1月 | 16,018 | 3.8 | 256 |
| 2009年1月 | 15,759 | 4.1 | 277 |
| 2009年7月 | | 5.7 | 359 |

厚生労働省「ホームレスの実態に関する全国調査」/総務省「労働力調査」より
※2009年7月の有効求人倍率（季節調整値）は0.42倍。
完全失業率の5.7%は「日本過去最悪」の数値です。



「自立支援センター北九州」入所希望者は
2009年9月時点で
4ヶ月待ちの状況…

北九州に
新しい施設の必要が！



私たちがつくるとしている 新しい地域拠点 「抱樸館北九州」とは

NPO法人北九州ホームレス支援機構は、1988年に活動を開始、20年以上にわたって路上のいのちに対して支援活動を続けて参りました。すでに700名以上が自立され新しい生活に入られました。これらはすべて多くの方々の温かいご支援の賜物です。結果、北州市内のホームレス数は大きく減少しました。

しかし、2008年秋より世界は未曾有の不況に見舞われ、ホームレス数も急増しています。これまで北州市との協働による自立支援を含め年150名以上のアパート設定をしてきましたが、2008年度はホームレス増加を見込み、自立支援を一層進め220人以上の居宅設置を行いました。しかし経済状況の悪化は深刻で支援が追いつかないほどの事態となっています。

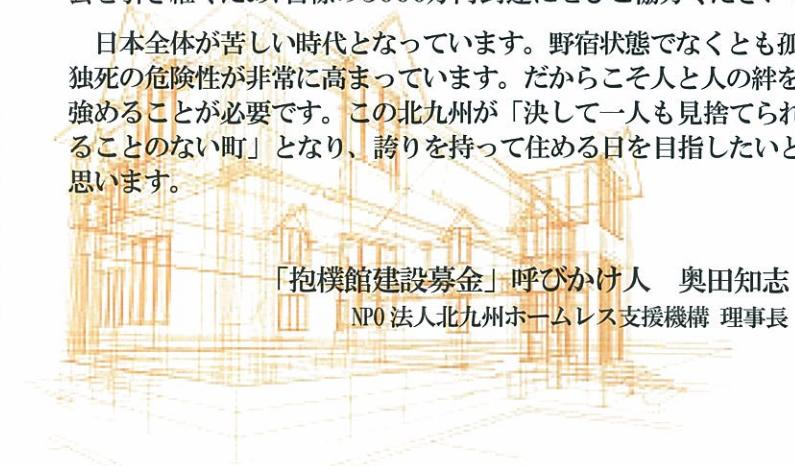


さらに今後野宿状態へ向かう恐れのある方々が地域には多数いると見られ、その人々に対する早期の支援も必要です。一方すでに自立を果たした方が、再びホームレス状態に陥らないための継続支援も重要です。いま自立者の多くが高齢者となられ、ほとんどが家族・縁者のいない中で単身生活が困難になってきています。「身よりのないお年寄りが地域で安心して過ごせる」ための支援が求められているのです。

そこで私たちは、新しい支援施設を建設したいと考えました。入居予定数は40名。これはホームレス状態に置かれた方々はもちろんのこと、地域において困窮孤立状態にある方々のための「地域拠点施設」として計画しています。

つきましては、この施設建設のために、どうか寄付をお願いします！ 困窮状態にある人々のいのちを守り次世代に希望ある社会を引き継ぐため、目標の5000万円到達にぜひご協力ください！

日本全体が苦しい時代となっています。野宿状態でなくとも孤独死の危険性が非常に高まっています。だからこそ人と人の絆を強めることが必要です。この北九州が「決して一人も見捨てされることのない町」となり、誇りを持って住める日を目指したいと思います。



「抱樸館建設募金」呼びかけ人 奥田知志
NPO法人北九州ホームレス支援機構 理事長

「おんなじいのち」が集う場所！

「抱樸館北九州」のコンセプト

これからは、ホームレス問題を理解した上でのケアが施される「終の棲家」が必要です。地域に開かれた「拠点」を礎に、ホームレス（孤独）を生まない社会を形成していきたいと考えます。



地域の困窮孤立高齢者のために

「抱樸館北九州」で担いたい機能

1) 地域に開かれた助け合いの拠点

- ⇒地域で暮らす方々の総合相談窓口
- ⇒地域共済会（登録制の助け合い組織）
 - 食事提供・イベント・共同購入等
- ⇒食堂・喫茶／食の確保と交流の場の提供
- ⇒相互多重支援（自己尊厳意識の確保）
- ⇒託児・子どもの居場所
- ⇒イベント開催（コンサートホール・ギャラリー・学習会場）

2) 「自立生活サポートセンター八幡」

- ⇒専門スタッフによる見守り・地域生活支援
- ⇒孤独死防止プロジェクト

3) グルーフホーム（ケア付き住宅）

- ⇒終(つい)の棲家の提供
- ⇒独居困難者（高齢者）向けの共同生活施設

4) 自立支援住宅

- ⇒生活困窮状況からの脱出支援（入所6ヶ月）
- ⇒自立支援プログラムの実施（生活支援・体操・音楽療法）



5) 一時避難シェルター

- ⇒緊急保護の必要な方への対応（1ヶ月）

6) ボランティア事務局

- ⇒こどもから大人まで、「できること」に合わせた、ボランティア活動の案内・受付